

平成27年度（平成26年度決算）

# みやき町教育委員会 事務事業評価報告書

みやき町教育委員会

## 平成27年度（平成26年度決算）事務事業評価に係る事業一覧表

### 【学校教育課】

事業名	ページ数
○ 義務教育施設環境整備事業	1
○ 学校施設改修事業	2
○ 進・魅力ある学校づくり推進事業	3
○ 原子力・エネルギー教育支援事業	4
○ 運動部活動工夫改善支援事業	5
○ 外国青年招致事業	6
○ JFAこころのプロジェクト事業	7
○ 教育委員会活動事業	8
○ 特別支援教育支援員配置事業	9
○ スクールカウンセラー事業	10
○ 学力向上支援体制確立対策事業	11
○ ICT支援体制確立対策事業	12
○ 要保護・準要保護児童生徒就学援助事業	13
○ 育英資金貸付基金事業	14
○ 学校給食センター事業	15

### 【社会教育課】

事業名	ページ数
○ 青少年健全育成事業	16
○ まちづくりいきいき女性クラブ事業	17
○ 放課後子ども教室事業	18
○ 生涯学習事業	19
○ 図書館事業	20
○ 文化財保護事業	21
○ 社会教育施設整備事業（農村環境改善センター）	22
○ 九州及び全国競技大会出場補助事業	23
○ 町体育協会補助事業	24
○ 各種スポーツ大会等開催事業	25
○ 北茂安B&G海洋センター教室開催等事業	26

事業名	義務教育施設環境整備事業			所管課	学校教育課	担当	学校教育担当																																																																
				費目		事務局費																																																																	
事業費 (千円)	4,843	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源																																																																
				1,400	2,600		843																																																																
基本方針	重点目標	いきいき楽しい学校教育の推進																																																																					
	主要施策	学校施設・設備の充実																																																																					
事業の内容等	町内全小・中学校の体育館及び屋外トイレの洋式化により児童生徒の学習環境の充実を図る。																																																																						
事業の実績等	<p>町立の小学校、中学校の体育館及び屋外トイレの洋式化を行った。</p> <p>学校別設置数</p> <table border="0"> <tr> <td>中原小学校</td> <td>4基</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>北茂安小学校</td> <td>4基</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>三根東小学校</td> <td>2基</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>三根西小学校</td> <td>2基</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>中原中学校</td> <td>3基</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>北茂安中学校</td> <td>4基</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>三根中学校</td> <td>2基</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>計</td> <td>21基</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>							中原小学校	4基							北茂安小学校	4基							三根東小学校	2基							三根西小学校	2基							中原中学校	3基							北茂安中学校	4基							三根中学校	2基											計	21基		
中原小学校	4基																																																																						
北茂安小学校	4基																																																																						
三根東小学校	2基																																																																						
三根西小学校	2基																																																																						
中原中学校	3基																																																																						
北茂安中学校	4基																																																																						
三根中学校	2基																																																																						
				計	21基																																																																		
事業の成果等	自己評価	計画通り完了しました。																																																																					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分																																																																						
評価委員	評価結果	指摘事項																																																																					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。																																																																					
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等																																																																						

事業名	学校施設改修事業			所管課	学校教育課	担当	学校教育担当															
				費目	小学校費・中学校費																	
事業費 (千円)	27,434	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源															
							27,434															
基本方針	重点目標	いきいき楽しい学校教育の推進																				
	主要施策	学校施設・設備の充実																				
事業の内容等	学校施設の老朽化に対し改修を行う。																					
事業の実績等	<table style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">中原小学校体育館屋根防水改修工事</td> <td style="text-align: right;">19,850,400円</td> </tr> <tr> <td>三根西小学校多目的トイレシャワースペース増設工事</td> <td style="text-align: right;">1,725,183円</td> </tr> <tr> <td>中原中学校駐輪場擁壁工事</td> <td style="text-align: right;">131,803円</td> </tr> <tr> <td>中原中学校グラウンド給水管工事</td> <td style="text-align: right;">494,640円</td> </tr> <tr> <td>中原中学校西側出入り口付近溜り水排水パイプ設置工事</td> <td style="text-align: right;">99,360円</td> </tr> <tr> <td>北茂安中学校進入口舗装工事</td> <td style="text-align: right;">5,132,160円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td style="text-align: right;">27,433,546円</td> </tr> </table>								中原小学校体育館屋根防水改修工事	19,850,400円	三根西小学校多目的トイレシャワースペース増設工事	1,725,183円	中原中学校駐輪場擁壁工事	131,803円	中原中学校グラウンド給水管工事	494,640円	中原中学校西側出入り口付近溜り水排水パイプ設置工事	99,360円	北茂安中学校進入口舗装工事	5,132,160円	合 計	27,433,546円
中原小学校体育館屋根防水改修工事	19,850,400円																					
三根西小学校多目的トイレシャワースペース増設工事	1,725,183円																					
中原中学校駐輪場擁壁工事	131,803円																					
中原中学校グラウンド給水管工事	494,640円																					
中原中学校西側出入り口付近溜り水排水パイプ設置工事	99,360円																					
北茂安中学校進入口舗装工事	5,132,160円																					
合 計	27,433,546円																					
事業の成果等	自己評価	中原小学校他5工事は、施設の老朽化改修で児童生徒利用の安全確保と教育環境の充実を図ることができた。																				
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分																					
評 価 委 員	評価結果	指 摘 事 項																				
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。																				
次年度以降の取組み	指 摘 事 項 を 受 け て の 改 善 点 等																					

事業名	進・魅力ある学校づくり推進事業		所管課	学校教育課	担当	学校教育担当	
			費目	小学校費・中学校費			
事業費 (千円)	1,258	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
				629			629
基本方針	重点目標	心豊かに、自ら学ぶ力を高める学校づくりを目指す					
	主要施策	学力向上、地域交流を目的とした教育事業の推進を図る					
事業の内容等	<p>中原小学校では、地域人材を生かした体験活動及びICT利活用による学力の向上を図る。北茂安小学校では、考えを広げ深める言語活動を通して、学力の向上を図る。三根西小学校では、言葉を大切にしながら確実に読むことのできる児童の育成を図る。中原中学校では、学習規律・生活規律を定着させ、主体的に学ぶ生徒を育成する。北茂安中学校では、確かな学力の定着をはかり「学び合い」学習の促進を図る。全学校で、ICT利活用による学力の向上を図る。</p>						
事業の実績等	<p>事業実施校：中原小学校・北茂安小学校・三根西小学校・中原中学校・北茂安中学校（全校単年事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中原小学校 地域の特性を生かし共に学ぶ風の子の育成。地域人材を生かした体験活動及び、ICT利活用による学力の向上を図ることができた。</li> <li>・北茂安小学校 確かに読む力を育てる国語科学習指導の研究、伝え合う活動を通して学力の向上を図ることができた。</li> <li>・三根西小学校 校内研究の取り組みやICTの効果的な利用によって、学力面において興味関心・学力の向上につながった。</li> <li>・中原中学校 学習規律・生活規律を定着させ、ICT利活用教育の工夫改善をすることにより、生徒の学習意欲、学力向上を図ることができた。</li> <li>・北茂安中学校 生徒の確かな学力の定着をはかる「学び合い」学習のあり方を探ることにより、生徒の学力向上や生活態度の適正化を図ることができた。</li> </ul>						
事業の成果等	自己評価	子ども達に対する指導事業の取組みについては、ほぼ当初の目標を達成したと考えている。また、ICT機器を活用して興味関心を高め、意欲向上を図ることができた。					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	ただし、講師を招聘し指導助言を仰いだり、先進校を視察し研修を重ねたりすることで効果的な学習指導法に対する知見を得ることができたが、そのことが児童生徒の学力向上の成果として現れるのはこれからであると思われる。					
評価委員	評価結果	指 摘 事 項					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	三根東小学校と三根中学校が事業に取り組んでいないのはなぜか。					
次年度以降の取組み	<p>指 摘 事 項 を 受 け て の 改 善 点 等</p> <p>学校の現状と学校長の学校経営方針によって事業への取り組みが決定されるが、事業への取組がなくとも特色ある学校づくりにはそれぞれ取り組んでいる。</p> <p>なお、当該事業は26年度までの事業であったため、今後は他の研究指定事業や町独自の研究指定委嘱事業等を活用し、教諭の指導力向上に取り組んでいきたい。</p>						

事業名	原子力・エネルギー教育支援事業		所管課	学校教育課	担当	学校教育担当	
			費目	小学校費			
事業費 (千円)	264	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
				264			
基本方針	重点目標	身近なエネルギーに対する知識の習得を目指す					
	主要施策	エネルギー供給や仕組みの学習を目的とした教育事業の推進を図る					
事業の内容等	特定学年の授業において、エネルギー館の見学や実験器具を通じて、エネルギー供給の仕組み等の知識の習得を図った。						
事業の実績等	<p>事業実施校：中原小学校</p> <p>事業実施年数：単年申請の6年目</p> <p>① 北九州次世代エネルギーパークの見学 ② 光電池学習セット及び送風機の購入</p>						
事業の成果等	自己評価	本事業補助金により施設見学や実験器具を活用して、子ども達にエネルギーの発生や供給の仕組みについて、教科書だけの学習より、より良い学習を行なうことができた。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分						
評価委員	評価結果	指摘事項					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	事業名は原子力エネルギーとなっているが、扱うエネルギーは原子力のみではないなら事業名がおかしくないか。					
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等						
	事業名の原子力とエネルギーの間に「・」を入れ「原子力・エネルギー教育支援事業」に変更する。						

事業名	運動部活動工夫改善支援事業			所管課	学校教育課	担当	学校教育担当
				費目	中学校費		
事業費 (千円)	137	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
				137			
基本方針	重点目標	外部指導者を活用して、スポーツ技術等の習得を目指す					
	主要施策	体育授業や運動部活動において、基本的、専門的な指導強化を図る					
事業の内容等	中学校における運動部活動において、専門的な外部指導者を活用して、学校教諭で補えない基本的・専門的な技術の習得を図る。						
事業の実績等	事業実施校：町内2中学校（中原中学校・北茂安中学校） 事業実施年数：単年申請の1年目  ① 中原中学校・・・運動部活動（野球）回数25回 ② 北茂安中学校・・・運動部活動（バレーボール）回数25回  ○ 県の直営事業（県予算で直接支出）						
事業の成果等	自己評価	中学校においては、全ての運動部活に専門的指導ができる教員が顧問になれない問題があるため、専門的技術を有する外部指導者の指導により、子ども達に基本的、専門的技術を					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	ただし、もっと指導回数が多ければ			※27年度分は武道等指導推進事業も評価すること。		
評価委員	評価結果	指 摘 事 項					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	① 3中学校のうち2中学校の野球部とバレーボール部だけの実施であるが、また回数的にも無いよりはましという程度の事業か。 ② 中体連等の大会での結果として成果は現れているのか。 ③ 町単独の事業として一般財源からの支出は考えられないか。					
次年度以降の取組み	指 摘 事 項 を 受 け て の 改 善 点 等						
	① 当該事業では県の予算と採択の兼ね合いから外部指導者の人数及び回数に制限がある。 ② 中原中の野球部は27年度の中体連の三養基・神埼地区大会では準優勝している。 北茂安中のバレーボール部については同大会で優勝し、県大会へ出場している。また、メンバーのうち一人は佐賀県選抜チームに選ばれている。 ③ 基本的には運動部活動は所属校の正規教諭が担当すべきと考えているが、必要に応じて当該事業及び外部ボランティアを活用して今後も取り組んでいきたい。						

事業名	外国青年招致事業		所管課	学校教育課	担当	学校教育担当	
			費目	外国青年招致事業費			
事業費 (千円)	12,325	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
							12,325
基本方針	重点目標	町内児童、生徒の英語学力の向上を目指す					
	主要施策	英語圏外国人の指導にて、語学力向上と異国文化の知識習得を図る					
事業の内容等	町内中学校に外国人指導者（ALT）を雇用して、中学校における英語授業での日本人教諭のアシスタント及び小学校における外国語体験学習での指導を行ない、子ども達の外国語学力の向上と異国文化の知識習得を図る。						
事業の実績等	<p>下記のとおりALTを配置した。</p> <p>中原校区：アメリカ籍女性（4～7月、直接雇用）                     フィリピン籍女性（8月～3月、業者委託）</p> <p>北茂安校区：アメリカ籍男性（4月～7月、直接雇用）                     イギリス籍男性（8月～3月、業者委託）</p> <p>三根校区：フィリピン籍男性（通年、業者委託）</p>						
事業の成果等	自己	町内ALT3名とも、学校における勤務評価も良好で、ある程度の日本語での会話も出来る。授業時間以外でも子ども達に親しく接しており、「言葉が通じない。」といった固定観念を払拭させ、子ども達の外国語学力向上、並びに学習意欲増進に貢献していると思われる。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分						
評価委員	評価結果	指 摘 事 項					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	ALTの人選については町の要望を反映できるのか。					
次年度以降の取組み	指 摘 事 項 を 受 け て の 改 善 点 等						
	<p>次年度以降の債務負担行為を設定することにより早い時期に業者を選定し、また、その業者選定の入札要件の中で町側の要望・条件等を提示していきたい。</p> <p>早めに質の良い業者を選定し、より良い人材を確保したい。</p>						



事業名	JFA こころのプロジェクト事業			所管課	学校教育課	担当	学校教育担当
				費目		事務局費	
事業費 (千円)	1,285	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
							1,285
基本方針	重点目標	夢を持つことの大切さ、夢や目標に向けて努力しようとする意識や態度を育む					
	主要施策	みやき町立小学校					
事業の内容等	公益財団法人日本サッカー協会が推進するJFAこころのプロジェクト「夢の教室」事業により、夢先生をみやき町立小学校に派遣する。						
事業の実績等	<p>1 実施校 みやき町立4小学校（7クラス） 中原小学校・北茂安小学校・三根東小学校・三根西小学校</p> <p>2 対象 第6学年</p> <p>3 派遣講師 諸永 直樹（バレー）・佐藤 由紀彦（サッカー）・安永 聡太郎（サッカー） 合計3名の講師による授業を1クラス2校時実施</p> <p>4 事業継続年数 2年</p>						
事業の成果等	自己評価	夢先生に興味を持ちあきらめない気持ちを持つことの大切さを学んだ。児童や教職員からの評価も高く次年度の希望も多かった。実施に伴い計画通りに達成できた。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分						
評価委員	評価結果	指摘事項					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。					
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等						

事業名	教育委員会活動事業		所管課	学校教育課	担当	教育総務担当	
			費目	委員会費			
事業費 (千円)	1,045	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
							1,045
基本方針	重点目標	教育の基本方針の総合的施策の推進					
	主要施策	教育の基本方針の教育行政の推進					
事業の内容等	教育委員会の活動状況や会議運営状況等						
事業の実績等	<p>〈主な学校行事参加関係〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 小学校入学式（4／9）・中学校入学式（4／10）・・・教育委員分散しての告辞</li> <li>○ 学校訪問（年間通して、小中学校7校の訪問）・・・教育委員全員</li> <li>○ 運動会・体育大会への参加・・・教育委員分散しての参加</li> <li>○ 文化祭・・・教育委員分散しての参加</li> <li>○ 青少年主張会・・・教育委員全員</li> <li>○ 小学校卒業式（3／19）・中学校卒業式（3／13）・・・教育委員分散しての告辞</li> </ul> <p>〈主な会議参加関係〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 町定例教育委員会（年12回）・町臨時教育委員会（年1回、5月）</li> <li>○ 三神地区教育委員会連絡協議会（春と秋の年2回）</li> </ul>						
事業の成果等	自己評価	教育委員自身、子どもたちの学校生活を把握できる機会を逃さないように学校行事には、積極的に参加している。					
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">達成</div> おおむね達成 やや不十分 不十分	会議関係では、町定例教育委員会において、付議議案のほかに、佐賀県の教育状況については教育長会資料により、また町内の状況については、校長会・教頭会の資料により確実に情報の共有を図っている状況である。また、県・三神地区の連絡協議会等の研修にも積極的に参加し、意見交換や現在の情報共有ができています。地域の声を聴くため、地区懇談会・PTA等の行事に積極的な参加を行っているところである。					
評価委員	評価結果	指 摘 事 項					
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">達成</div> おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。					
次年度以降の取組み	指 摘 事 項 を 受 け て の 改 善 点 等						

事業名	特別支援教育支援員配置事業			所管課	学校教育課	担当	学校教育担当																																																				
				費目	事務局費																																																						
事業費 (千円)	9,437	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源																																																				
							9,437																																																				
基本方針	重点目標	「生きる力」を育む教育の推進																																																									
	主要施策	特別支援教育の一層の充実																																																									
事業の内容等	小中学校に在籍する障害を持つ児童生徒に対して、学校教育活動上の日常生活の介助や学習活動上のサポートを行う。																																																										
事業の実績等	○ 特別支援学級入級者の状況（H26. 5. 1現在）																																																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>知的</th> <th>情緒</th> <th>難聴</th> <th>通級</th> <th>学校名</th> <th>知的</th> <th>情緒</th> <th>難聴</th> <th>通級</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中原小</td> <td>3</td> <td>9</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>中原中</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>北茂安小</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>19</td> <td>北茂安中</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>三根東小</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>三根中</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>三根西小</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>計</td> <td>17</td> <td>19</td> <td>1</td> <td>21</td> </tr> </tbody> </table>										学校名	知的	情緒	難聴	通級	学校名	知的	情緒	難聴	通級	中原小	3	9	1	2	中原中	2	1	0	0	北茂安小	4	1	0	19	北茂安中	4	2	0	0	三根東小	1	4	0	0	三根中	1	1	0	0	三根西小	2	1	0	0	計	17	19	1
学校名	知的	情緒	難聴	通級	学校名	知的	情緒	難聴	通級																																																		
中原小	3	9	1	2	中原中	2	1	0	0																																																		
北茂安小	4	1	0	19	北茂安中	4	2	0	0																																																		
三根東小	1	4	0	0	三根中	1	1	0	0																																																		
三根西小	2	1	0	0	計	17	19	1	21																																																		
事業の成果等	自己評価	年々増加する特別支援学級の児童生徒に対し、より早い小学校段階での支援を手厚くするため、特別支援学級担任及び交流学級担任を補助する役割を担っている。特別支援学級においては、複数の児童を担任と分担して支援したり、支援員が教諭補助員（T2）の役割を行ったり、個に応じた指導を行っている。交流学級においては、他の児童と円滑に体験活動、学校行事等に取り組めるよう効果的な支援を行い児童の学びを充実させることができた。																																																									
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分																																																										
評価委員	評価結果	指摘事項																																																									
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。																																																									
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等																																																										

事業名	スクールカウンセラー事業			所管課	学校教育課	担当	学校教育担当																																																															
				費目	事務局費																																																																	
事業費 (千円)	2,109	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源																																																															
				702			1,407																																																															
基本方針	重点目標	「生きる力」を育む教育の推進																																																																				
	主要施策	豊かな心を育む教育の推進																																																																				
事業の内容等	教育相談に関して、専門的な知識・経験を有する者をカウンセラーとして配置し、学校におけるカウンセリング機能の充実を図る。中学校の事業費については、県費となる。																																																																					
事業の実績等	<p>○ 小学校においては、児童では友人関係、教職員・保護者では不登校傾向児童に係る相談が多かった。また、保護者の性格に関する相談が多くみられる。中学校においても、不登校傾向生徒に係る相談多く、生徒自身は、友人関係に関する相談が多い。教職員からは学校、学級に関する相談が多かった。</p> <p>○ 各小中学校において、教員及び保護者に対し、カウンセラーによる研修会を年1～3回行った。</p>																																																																					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>児童(人)</th> <th>保護者(人)</th> <th>教員等(人)</th> <th>時間(h)</th> <th>学校名</th> <th>生徒(人)</th> <th>保護者(人)</th> <th>教員等(人)</th> <th>時間(h)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中 小</td> <td>18</td> <td>17</td> <td>25</td> <td>118</td> <td>中原中</td> <td>36</td> <td>2</td> <td>34</td> <td>72</td> </tr> <tr> <td>北茂安</td> <td>20</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>100</td> <td>北茂安中</td> <td>15</td> <td>8</td> <td>24</td> <td>72</td> </tr> <tr> <td>三根東小</td> <td>30</td> <td>18</td> <td>40</td> <td>92</td> <td>三根中</td> <td>13</td> <td>5</td> <td>24</td> <td>72</td> </tr> <tr> <td>三根西小</td> <td>2</td> <td>23</td> <td>12</td> <td>90</td> <td>計</td> <td>64</td> <td>15</td> <td>82</td> <td>216</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>70</td> <td>83</td> <td>102</td> <td>400</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>										学校名	児童(人)	保護者(人)	教員等(人)	時間(h)	学校名	生徒(人)	保護者(人)	教員等(人)	時間(h)	中 小	18	17	25	118	中原中	36	2	34	72	北茂安	20	25	25	100	北茂安中	15	8	24	72	三根東小	30	18	40	92	三根中	13	5	24	72	三根西小	2	23	12	90	計	64	15	82	216	計	70	83	102	400					
	学校名	児童(人)	保護者(人)	教員等(人)	時間(h)	学校名	生徒(人)	保護者(人)	教員等(人)	時間(h)																																																												
	中 小	18	17	25	118	中原中	36	2	34	72																																																												
	北茂安	20	25	25	100	北茂安中	15	8	24	72																																																												
	三根東小	30	18	40	92	三根中	13	5	24	72																																																												
三根西小	2	23	12	90	計	64	15	82	216																																																													
計	70	83	102	400																																																																		
○ 小学校分は町費、中学校分は県費より直接支出																																																																						
事業の成果等	自己評価	昨年度に比べると、小学校では、全体の相談件数は増加している。特に児童の相談が増加している。中学校でも、昨年と比較すると全体の相談件数は増加している。特に教職員の相談件数は3倍以上となっている。引き続き当該事業を活用し、悩みや心配事がある児童生徒や保護者及び教職員の個々の相談案件への個別対応により、学校・家庭教育における細かな対応に努めていきたい。また、カウンセラー指導助言により、学校と家庭との連携をさらに充実させ、問題行動に対する未然防止や事後カウンセリングを引き続き行い安定した教育環境の確立を図っていきたい。																																																																				
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分																																																																					
評価委員	評価結果	指 摘 事 項																																																																				
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	相談件数が増加しているが、カウンセラーの配置時間が足りないのではないか。																																																																				
次年度以降の取組み	指 摘 事 項 を 受 け て の 改 善 点 等																																																																					
	県に対し配置時間をもっと多く要望していきたい。また、質の高いカウンセラーを配置してもらおうよう要望していきたい。																																																																					

事業名	学力向上支援体制確立対策事業			所管課	学校教育課	担当	教育総務担当
				費目	事務局費		
事業費 (千円)	10,456	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
							10,456
基本方針	重点目標	「生きる力」を育む教育の推進					
	主要施策	確かな学力を育む教育の推進					
事業の内容等	<p>教諭補助事業・・・中学校に教諭補助員を配置し、生徒の学力向上及び生徒指導を行う。 また、不登校対策として、教育委員会事務局で不登校児童・生徒への個別指導を行う。</p>						
事業の実績等	<p>○ 教諭補助事業 決算額 10,455,712円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町の直接雇用（3中学校に6名、不登校対策（事務局内勤務）1名・・・計7名の配置）</li> <li>・中原中学校2名（社会・体育） 北茂安中学校2名（体育・体育）</li> <li>三根中学校2名（国語・体育）</li> <li>・担当教科でTTを実施し、T2の役割を担うことで学習支援を行った。</li> </ul>						
事業の成果等	自己評価	<p>教諭補助員を配置したことで、一人一人の学習内容に応じた支援・対応ができたことで、個々の学力が向上できたと思われる。また、問題行動等においても教諭支援を行い、落ち着いた学校生活ができています。</p> <p>不登校児童生徒対策として、教育委員会に『フリースクール』を開校し、不登校児童・生徒の受け入れを行い、個別指導を通じて、通学者の学校・社会への適応力の醸成を図った。</p>					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分						
評価委員	評価結果	指 摘 事 項					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。					
次年度以降の取組み	指 摘 事 項 を 受 け て の 改 善 点 等						

事業名	ICT支援体制確立対策事業			所管課	学校教育課	担当	教育総務担当
				費目	事務局費		
事業費 (千円)	5,713	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
							5,713
基本方針	重点目標	「生きる力」を育む教育の推進					
	主要施策	確かな学力を育む教育の推進					
事業の内容等	授業における ICT 利活用を円滑に進める環境づくりとして、教員の ICT 活用を支援する「ICT 支援員」を配置することによりサポート体制の充実を図る。						
事業の実績等	<p>○ ICT支援員配置事業 決算額 5,712,256 円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町の直接雇用（3校区に各1名の配置）</li> <li>・電子黒板やタブレット端末の利活用の支援を行った。</li> </ul>						
事業の成果等	自己評価	授業や研修の開始前に機器やソフトウェアを設定したり、授業中や研修中に操作したり、操作方法を説明するなど教員の指導を支援する。 デジタル教材について、情報を収集し紹介するとともに、それらの効果的な活用方法や指導案・指導計画づくりについて教員に助言を行っている。 情報モラルやインターネット上の有害情報等の問題については、情報サービスの変化・多様化や、その中で児童生徒がこれまでなかったような被害に遭うケースの出現も考えられることから、最新の情報をもつ ICT 支援員の役割は重要である。 また、学校からはもっと教科教育の面で授業に積極的にかかわってほしいという要望もあがっている。					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分						
評価委員	評価結果	指 摘 事 項					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。					
次年度以降の取組み	指 摘 事 項 を 受 け て の 改 善 点 等						
	支援員を増やすことは財源的に困難だが、他市町に劣っているとは思っていない。今後も各校区1名配置は確保していきたい。						

事業名	要保護・準要保護児童生徒 就学援助事業		所管課	学校教育課	担当	学校教育担当	
			費目	小中学校費			
事業費 (千円)	11,125	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
				6			11,119
基本方針	重点目標	教育活動を支える環境の整備					
	主要施策	学校・家庭・地域が連携した教育の推進					
事業の内容等	学校教育法第19条に基づく、経済的な理由によって就学困難な児童生徒の保護者に対して、必要な援助を行い、義務教育の円滑な実施に資する。						
事業の実績等	<p>【要保護児童生徒】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校 2名 中学校 1名 計3名</li> <li>・修学旅行費（実費）のみの支給</li> <li>・支給総額 小学校 12,497円 中学校 0円</li> </ul> <p>【準要保護児童生徒】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校 94名 中学校 61名 計 155名</li> <li>・認定者数は、年々増加。(H25年度：159名、H24年度：159名、H23：161名、H22年度：150名、H21年度：140名、H20年度：118名)</li> <li>・学用品費等、通学用品費、校外活動費、修学旅行費、新入学児童生徒学用品費、医療費、学校給食費を支給。費目によっては、実費負担額支給をするが、限度額がある費目もある。</li> <li>・支給総額 小学校 5,414,344円 中学校 5,697,799円</li> <li>・毎年、2月の町広報で申請のお知らせをしている。随時申請も受け付けている（扶助費は月割）</li> </ul>						
事業の成果等	自己評価	準要保護児童生徒の増加は、景気が不安定な中にあり、また離婚等によるひとり親家庭が年々増加していることが主な原因である。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	学校給食費等滞納者にあつては、学校・給食センターと教育委員会で協議しながら申請を提出いただいている。就学援助事業を活用しながら、家庭教育力向上ができればと思っているところである。					
評価委員	評価結果	指 摘 事 項					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。					
次年度以降の取組み	指 摘 事 項 を 受 け て の 改 善 点 等						

事業名	育英資金貸付基金事業			所管課	学校教育課	担当	学校教育担当				
				費目		事務局費					
事業費 (千円)	1,800	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源				
						1,800					
基本方針	重点目標	教育活動を支える環境の整備									
	主要施策	学校・家庭・地域が連携した教育の推進									
事業の内容等	育英助長の必要があると認める本町に住所又は本籍を持つ優秀な高等学校または大学等に在学（進学）する者の中で、勉学等に意欲があり、経済的理由により学資の支弁が困難である者に対して修学上必要な資金として貸し付ける。										
事業の実績等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大学生等 月額20,000円以内 / 高校生等 月額10,000円以内 の貸付</li> <li>○ 貸付期間は当該学年から正規修業時まで 利率は無利子</li> <li>○ 基金及び貸付者等の状況 (単位：千円，人)</li> </ul>										
		積立金	返済額	既認定者		申請者		認定者		貸付額	残額
				高校	大学	高校	大学	高校	大学		
	平成22年度	2,000		1	3	0	3	1	5	1,320	1,360
	平成23年度	2,000		1	5	1	1	2	6	1,680	1,680
	平成24年度	2,000	368	2	6	1	2	2	6	1,680	2,368
	平成25年度	2,000	546	2	6	0	2	2	6	1,680	3,234
平成26年度	0	2,106	1	4	0	3	1	7	1,800	3,540	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 平成20年度より貸付を開始している。みやき町育英資金運用委員会（委員5名）にて、採用者の決定を行っている。平成26年度は5/29に開催し、高校生0名・大学生2名・専修学校1名の採用をした。</li> <li>○ 返済については、平成24年度より3名、25年度より1名、26年度より3名の償還が始まった。6年以内（27年度貸付者からは8年以内）で月賦又は年賦で返済する。2名は返済完了している。</li> </ul>											
事業の成果等	自己評価	育英資金貸付事業の開始から7年目である。町広報の2・3月号に掲載をして募集を行い、15名の奨学生へ貸付を行った。平成24年7月から3名、25年7月1名、26年7月3名の償還が開始され、償還計画どおり償還がなされている。現在の貸付者は10名である。申請者においては、佐賀県等や他の育英資金貸付との兼ね合いを見ながら申請されている。返済が開始しても貸付の方が多いので、積立等をしながら基金を賄っていく状況である。									
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分										
評価委員	評価結果	指摘事項									
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。									
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等										



事業名	学校給食センター事業			所管課	学校教育課	担当	学校給食担当																				
				費目	給食センター費																						
事業費 (千円)	26,187	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源																				
							26,187																				
基本方針	重点目標	児童及び生徒の心身の健全な発達に資する給食の提供																									
	主要施策	栄養バランスのとれた豊かな学校給食の提供																									
事業の内容等	小学校2校・中学校2校、一食あたり小学生245円・中学生294円で年間199回の給食を提供する。																										
事業の実績等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 食物アレルギーに対する除去食・代替食を提供した。(小学生 2名 中学生 3名)</li> <li>○ 食の安全を徹底するために、調理員の衛生管理研修を実施した。(7月30日)</li> <li>○ 安心・安全な給食提供のため、地元野菜の供給を推進した。</li> </ul> <p>*給食センター稼働回数 197回(台風の影響により休校のため、2回中止になった)</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>年間回数</th> <th>児童数</th> <th>職員数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>三根東小学校</td> <td>193</td> <td>153</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>三根西小学校</td> <td>193</td> <td>172</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>三根中学校</td> <td>192</td> <td>188</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>中原中学校</td> <td>190</td> <td>232</td> <td>26</td> </tr> </tbody> </table>							学校名	年間回数	児童数	職員数	三根東小学校	193	153	19	三根西小学校	193	172	19	三根中学校	192	188	26	中原中学校	190	232	26
	学校名	年間回数	児童数	職員数																							
三根東小学校	193	153	19																								
三根西小学校	193	172	19																								
三根中学校	192	188	26																								
中原中学校	190	232	26																								
事業の成果等	自己評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>○衛生管理を徹底し、食中毒等の事故も無く、充実した給食内容を提供できた。</li> <li>○給食費の未納はない。</li> <li>○提供した給食の数の間違いが数回あった。</li> </ul>																									
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分																										
評価委員	評価結果	指摘事項																									
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。																									
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等																										

事業名	青少年健全育成事業			所管課	社会教育課	担当	社会教育担当
				費目	社会教育総務費		
事業費 (千円)	3,353	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
							3,353
基本方針	重点目標	生涯学習の総合的な推進と青少年の健全育成					
	主要施策	青少年の体験活動の充実及びサポート隊組織強化と活動の充実					
事業の内容等	青少年健全育成指導員や青少年育成町民会議と連携し、地域での青少年育成や青少年サポート隊活動による子どもたちの安全安心な環境づくりに取り組む。						
事業の実績等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年健全育成指導員については、各地区1名の計57名に委嘱して、校区ごとに月1回程度指導員会議を開催し、地域での活動や現状報告を行い青少年の育成に取り組んだ。また、青少年健全育成指導員が主体となって地区懇談会を開催し、小・中学校の現状や教育委員会の取組み等を報告し、地域住民との意見交換を行った。（27地区実施）</li> <li>・青少年育成町民会議においては、地区内で取り組まれる体験活動やふれあい交流活動に対して助成を行う「青少年育成地区活動補助事業」を実施。（48地区助成）</li> <li>・広報啓発事業として、「少年の主張」文集を作成し各世帯に配布した。</li> <li>・小中学校交流主張会を11月に校区ごとに開催した。</li> <li>・青少年サポート隊による登下校時の立番や防犯パトロールを実施した。</li> <li>・組織強化として、隊長会議を年3回開催しあいさつ運動の推進や交通防犯講話を実施した。また、福岡県糸島市に先進地視察を行い様々な取組みを参考にして活動の充実を図っている。</li> </ul>						
事業の成果等	自己評価	地域において子どもと大人が一緒になって参加する体験活動やふれあい活動を推進することにより、青少年育成の充実を図ることができた。また、青少年サポート隊の活動により、登下校時の交通事故や子どもたちが犯罪に巻き込まれるような事件を未然に防いでいる。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分						
評価委員	評価結果	指 摘 事 項					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。					
次年度以降の取組み	指 摘 事 項 を 受 け て の 改 善 点 等						

事業名	まちづくりいきいき女性クラブ事業		所管課	社会教育課	担当	社会教育担当
			費目	社会教育総務費		
事業費 (千円)	2,161	財源	国庫	県費	地方債	その他
						一般財源 2,161
基本方針	重点目標	地域住民の交流を図り親睦と連携の強化				
	主要施策	女性活動・町民協働支援の推進				
事業の内容等	<p>地域が一体となり共に支えあう福祉社会の形成及び女性の視点に立った魅力ある住みよいまちづくりの実現を図るため、各行政区に、まちづくりいきいき女性クラブ地区推進員を置き、その活動に対して助成金を交付する。</p>					
事業の実績等	<p>○35地区 38名登録（400世帯を超える行政区は、1人増員可） ・中原校区 9地区11名 ・北茂安校区 11地区12名 ・三根校区 15地区15名</p> <p>○活動内容 ・交流事業 世代間交流 花見 そば打ち 餅つき ぜんざい会 ウォーキング 等 ・各種教室 料理教室 ゴキブリ団子作り バルーンアート作り パソコン教室等 ・奉仕活動 花壇の花植え 草取り ごみ拾い 資源回収 夏休み寺子屋 等 ・研修 工場見学 視察研修 ふるさと探訪 神社等見学 等 ・地区行事サポート 敬老会 町民体育大会 その他地区行事</p>					
事業の成果等	自己評価	<p>推進員の活動により、女性だけでなく、男性、子ども等の参加により、地域住民の交流を行うことにより親睦と連携の強化がなされた。 町全域57地区の内、35地区の設置である。</p>				
	<p>達成 おおむね達成 やや不十分 不十分</p>					
評価委員	評価結果	指 摘 事 項				
	<p>達成 おおむね達成 やや不十分 不十分</p>	<p>町内57地区の内、35地区に設置されているが全地区に設置しないのか。</p>				
次年度以降の取組み	指 摘 事 項 を 受 け て の 改 善 点 等					
	<p>地区推進員については、区長の推薦により設置されるものである。 今後、未設置地地区については、区長会で説明し協力を求める。また、教育委員会だより、町の広報紙等によりいきいき女性クラブのすばらしさをPRして、より多くの地区が設置されるよう努めていきたい。</p>					

事業名	放課後子ども教室事業			所管課	社会教育課	担当	社会教育担当
				費目		社会教育総務費	
事業費 (千円)	1,158	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
				770			388
基本方針	重点目標	生涯学習の総合的な推進と青少年の健全育成					
	主要施策	総合的な放課後子どもプランの実施および活動の推進					
事業の内容等	<p>校区ごとに、スポーツ、手芸、英会話等の教室を実施し、多様な体験活動の機会を充実させ、子どもたちの心豊かな成長を育むことを図る。さらに、地域住民の参画を得ることにより、地域ぐるみで子どもを育む環境づくりを推進する。</p>						
事業の実績等	<p>○ 4月～翌年2月にかけて、原則毎月2回、土曜日の午前中に、中原風っ子元気スクール、茂安っ子いきいきスクール、三根わくわくスクールを各校区において実施した。また、夏休み期間中も、各校区において夏休み子ども教室を実施し多くの子どもたちが参加した。</p> <p>○ 教室内容：スポーツ、手芸、英語、木工、ハンドベル、遊んじゃ王（昔遊びや体験活動等）等</p>						
		放課後子ども教室名	土曜日 も教室開 催回数	夏休み子 ども教室開 催回数	参加者数	延べ参加者	
		中原風っ子元気スクール	18回	9回	219名	1,208名	
		茂安っ子いきいきスクール	17回	12回	170名	819名	
		三根わくわくスクール	18回	10回	146名	708名	
	計	53回	31回	535名	2,735名		
事業の成果等	自己評価	<p>放課後子ども教室を実施したことで、子どもたちの安全で健やかな居場所を提供でき、小学1年生から6年生までの異年齢間の交流も図ることができた。さらに、小学校の授業では学べない知識の取得や経験ができた。また、地域の方々が指導員として参加していただいたことで子どもたちとの交流も深められた。</p>					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分						
評価委員	評価結果	指摘事項					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。					
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等						

事業名	生涯学習事業			所管課	社会教育課	担当	社会教育担当	
				費目	公民館費			
事業費 (千円)	711	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源	
						650	61	
基本方針	重点目標	生涯学習の総合的な推進と青少年の健全育成						
	主要施策	生涯学習の環境づくり						
事業の内容等	住民の多様化する学習ニーズに対応して、各種教養講座や教室を実施し、住民の教養の向上、健康増進を図る。							
事業の実績等	各校区における公民館事業の実施状況							
	区分	事業の種類			回数	参加者数 (人)		
						男	女	計
	中原校区	みやき塾 (中原編)、風カレッジ、パソコン講座			19回	81	285	366
	北茂安校区	みやき塾 (北茂安編)、佐賀の歴史講座、エコクラフトバッグ作り教室、ストレッチ・リンパマッサージ教室、焼物絵付け教室、生け花教室、さおり織り教室、パソコン教室			28回	237	431	668
	三根校区	みやき塾 (三根編)、生きがい講座			7回	39	157	196
計				54回	357	873	1,230	
事業の成果等	自己評価	住民のニーズに対応する講座・教室を開催することで、生涯学習の情報提供、環境づくりが実施できた。今後も参加者を増やすために努めていきたい。また、介護予防事業と連携した高齢者向けの講座を行い、多くの高齢者が楽しんで講義を受けられた。高齢者が生涯を健康で生きがいを持って生活できるよう支援した。						
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分							
評価委員	評価結果	指摘事項						
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分							
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等							

事業名	図書館事業			所管課	社会教育課	担当	図書館担当
				費目	図書館費		
事業費 (千円)	3,000	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
						500	2,500
基本方針	重点目標	社会教育の振興、歴史や文化の情報発信					
	主要施策	生涯学習の環境づくり					
事業の内容等	町民が知りたい読みたい資料を購入及び他館より借受け提供し、町民の知的要求に応え、生活の向上を助ける。						
事業の実績等	○ 蔵書構成						
		一般書	児童書	AV資料	雑誌	合計	
	26年度末	48,733	20,066	1,820	2,932	73,551	
	内26年度受入分	(1,604)	(602)	(109)	(442)	(2,757)	
	○ 貸出実績						
	開館日数	館外貸出人員	館外貸出冊数	1日平均貸出冊数			
	279日	21,206人	92,829点	333点			
○ リクエスト、レファレンスサービス							
・ リクエスト 予約件数 2,324件 (貸出中資料については予約処理、未所蔵資料については購入及び他館より借受で対応)							
・ レファレンス 584件 (読書相談、調べものに対応)							
○ 図書館とこすもす館・農村環境改善センター図書室をオンラインで結び、蔵書検索システムが稼働。平成27年1月より共通カードでの貸出及びインターネット蔵書公開を開始している。							
事業の成果等	自己評価	図書館とこすもす館・農村環境改善センター図書室がオンラインで結ばれ、共通カードで貸出できるようになったこと、またインターネットでの資料検索から各図書室の資料情報も提供できるようになり、サービスの向上に繋がった。町民の日常情報サービスの場として、生涯学習の場として、郷土の歴史や文化を学ぶ場としての充実を図った。					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分						
評価員	評価結果	指摘事項					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。					
年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等						

事業名	文化財保護事業			所管課	社会教育課	担当	社会教育担当
				費目	文化財保護費		
事業費 (千円)	11,285	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
			3,365	1,273		3,011	3,636
基本方針	重点目標	開発と埋蔵文化財の調整及び保護、史跡維持管理、その他業務の推進					
	主要施策	開発把握の徹底、史跡の活用、文化財の啓発活動の推進					
事業の内容等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開発を事前に把握し埋蔵文化財の有無を確認する確認調査事業</li> <li>・確認調査の結果検出された重要な遺跡について、より詳細に内容を把握し、遺跡の記録保存を図るための本調査事業</li> <li>・県・町指定史跡の維持管理事業</li> <li>・文化財の啓発活動事業など。</li> </ul>						
事業の実績等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 平成26年度文化財保護法第93・94条第1項による開発届出処理件数：36件 確認調査実績件数：37件（37件中、8件で遺跡を確認し、6件が設計変更等により遺跡が保護された。一方2件が記録保存のための本調査（受託事業）へ移行した。）</li> <li>○ 本調査実施（受託事業） <ul style="list-style-type: none"> <li>・宅地造成に伴う宝満谷遺跡、県道改良工事に伴う江口五本松北遺跡の本調査をそれぞれ実施した。</li> </ul> </li> <li>○ 県指定史跡—4ヶ所、町指定史跡—2ヶ所の維持管理業務を実施した。</li> <li>○ 歴史講座等の町民に向けた講座を開催し、文化財への啓発活動を行った。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史講座—全8回で、参加者総計499名（前年度—全9回、参加者総数685名）</li> </ul> </li> </ul>						
事業の成果等	自己評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 開発に伴う確認調査及び本調査を実施することにより、みやき町の歴史の証しである埋蔵文化財と開発との調整を図ることができた。</li> <li>○ 史跡維持管理は、除草作業を行い、景観美化に努めることができた。</li> <li>○ 啓発活動の歴史講座については、ほぼ毎月60名を超える参加があり、郷土の文化財への理解を深めていただき、地域活性化の一助となるよう努めることができた。</li> </ul>					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分						
評価委員	評価結果	指摘事項					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。					
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等						

事業名	社会教育施設整備事業 (農村環境改善センター)			所管課	社会教育課	担当	社会教育担当
				費目	社会教育等施設費		
事業費 (千円)	91,459	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
					86,800		4,659
基本方針	重点目標	芸術・文化に触れる機会や活動の場を増やし、個性的な文化環境づくりに努める					
	主要施策	社会教育施設・設備の充実					
事業の内容等	昭和59年建設の建物であり老朽化によって、屋上からの雨漏り、クラックからの雨水の浸透があり、外装や内装の劣化がみられた。特に、この施設については、災害時の避難場所であるため、合併特例債を活用して施設全体の機能強化工事を行った。平成26年度の工事内容として、屋上防水工事、多目的ホール空調設備改修工事(室外機、ダクト)、東屋改修工事、グラウンド観覧席改修工事を実施した。						
事業の実績等	○農村環境改善センター機能強化工事 実施設計委託料 4,411千円 工事請負費 87,048千円						
事業の成果等	自己評価	計画通りに完了した					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分						
評価委員	評価結果	指摘事項					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。					
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等						



事業名	九州及び全国競技大会 出場補助事業		所管課	社会教育課	担当	社会体育担当
			費目	保健体育費		
事業費 (千円)	1,071	財源	国庫	県費	地方債	その他
						一般財源 1,071
基本 方針	重点目標	たくましい心身の育成をめざす 町民総スポーツの振興				
	主要施策	競技スポーツの振興				
事業の 内容等	本町内に在住する者が九州地区又は全国競技大会に出場する場合に予算の範囲内において補助金を交付し出場者の負担軽減を図り社会体育の振興に寄与する。					
事業の 実績等	<p>○ 国際大会 中学生選抜野球(台湾 1名) 小計 1名 50千円</p> <p>○ 全国大会 小学生バレー(兵庫県 13名) バウンドテニス(東京都 2名) 中学生野球(宮城県 3名) 小学生卓球(兵庫県 1名) 小学生剣道(東京都 4名) 小学生空手(東京都 4名) 中学生空手(兵庫県 4名) 陸上(愛知県 1名) ラグビー(大阪府 1名) 中学生選抜バレー(大阪府 1名) 中学生空手(北海道 3名) フットサル(宮城県 1名) 小計 38名 654千円</p> <p>○ 九州大会 小中学生水泳(熊本県 13名) 中学生サッカー(宮崎県 2名) 小学生空手(宮崎県 3名) 中学生サッカー(鹿児島県 5名) 中学生サッカー(宮崎県 3名) 小学生卓球(長崎県 2名) 中学生野球(佐賀県 21名) 小学生野球(福岡県 17名) 中学選抜女子野球(熊本県 3名) 女子サッカー(沖縄県 1名) 硬式テニス(鹿児島県 1名) 小学生バスケット(沖縄県 2名) 中学生剣道(熊本県 8名) 小計 81名 367千円</p> <p>合計 のべ 120名 1,071千円 (前年度 84名 987千円)</p>					
事業の 成果等	自己評価	<p>今年度は国際大会への出場や団体競技の活躍などが特徴として挙げられ、全体としては出場者数 36名、金額 84千円といずれも昨年度より大幅に増加し、事業の成果としては十分に達成できたと考える。</p>				
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> おおむね達成 <input type="checkbox"/> やや不十分 <input type="checkbox"/> 不十分					
評 価 委 員	評価結果	指 摘 事 項				
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> おおむね達成 <input type="checkbox"/> やや不十分 <input type="checkbox"/> 不十分	特になし。				
次年度 以降の 取組み	指 摘 事 項 を 受 け て の 改 善 点 等					

事業名	町体育協会補助事業			所管課	社会教育課	担当	社会体育担当																																
				費目	保健体育費																																		
事業費 (千円)	3,500	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源																																
							3,500																																
基本方針	重点目標	たくましい心身の育成をめざす 町民総スポーツの振興																																					
	主要施策	競技スポーツの振興																																					
事業の内容等	町体育協会に加盟する各種目団体(17 団体、平成 25 年度より合気道部が加盟により 1 団体増)が行う大会、講習会等 P R 及び各種目団体が事業を行った場合の事業費の一部補助、また、県民体育大会出場者の募集及び選手派遣費等の補助を行う。																																						
事業の実績等	<p>○ 専門部事業実施回数</p> <table border="0"> <tr> <td>・剣道部</td> <td>2 回</td> <td>・柔道部</td> <td>2 回</td> </tr> <tr> <td>・ゲートボール部</td> <td>10 回</td> <td>・野球部</td> <td>1 回</td> </tr> <tr> <td>・グラウンドゴルフ部</td> <td>6 回</td> <td>・卓球部</td> <td>1 回</td> </tr> <tr> <td>・テニス部</td> <td>3 回</td> <td>・バレーボール部</td> <td>4 回</td> </tr> <tr> <td>・ゴルフ部</td> <td>3 回</td> <td>・ソフトボール部</td> <td>3 回</td> </tr> <tr> <td>・相撲部</td> <td>2 回</td> <td>・バドミントン部</td> <td>3 回</td> </tr> <tr> <td>・ボーリング部</td> <td>2 回</td> <td>・合気道部</td> <td>1 回</td> </tr> <tr> <td>・陸上</td> <td>1 回</td> <td></td> <td>計 44 回</td> </tr> </table> <p>○ 県民体育大会実績 総合順位 町の部 第 4 位 (昨年 3 位)</p> <p>主な結果 水泳(町の部) 優勝 空手道(総合)・ソフトボール男子 B 2 位 野球男子 B 3 位</p>							・剣道部	2 回	・柔道部	2 回	・ゲートボール部	10 回	・野球部	1 回	・グラウンドゴルフ部	6 回	・卓球部	1 回	・テニス部	3 回	・バレーボール部	4 回	・ゴルフ部	3 回	・ソフトボール部	3 回	・相撲部	2 回	・バドミントン部	3 回	・ボーリング部	2 回	・合気道部	1 回	・陸上	1 回		計 44 回
・剣道部	2 回	・柔道部	2 回																																				
・ゲートボール部	10 回	・野球部	1 回																																				
・グラウンドゴルフ部	6 回	・卓球部	1 回																																				
・テニス部	3 回	・バレーボール部	4 回																																				
・ゴルフ部	3 回	・ソフトボール部	3 回																																				
・相撲部	2 回	・バドミントン部	3 回																																				
・ボーリング部	2 回	・合気道部	1 回																																				
・陸上	1 回		計 44 回																																				
事業の成果等	自己評価	会員数についてはここ数年 1,500 人を少し下回る人数で推移している。専門部事業実施数については新たに陸上部が記録会を実施するなどもあり 1 回増となった。各専門部とも大会等の開催が定例化し多数の参加者で賑わっている。																																					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	また、県民体育大会においては総合順位が 4 位と 1 つ下がったものの、水泳競技をはじめとする団体競技での好成績が顕著に見られる。																																					
評価委員	評価結果	指摘事項																																					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。																																					
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等																																						

事業名	各種スポーツ大会等開催事業		所管課	社会教育課	担当	社会体育担当	
			費目	保健体育費			
事業費 (千円)	918	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
							918
基本方針	重点目標	たくましい心身の育成をめざす 町民総スポーツの振興					
	主要施策	多様なニーズに対応できる生涯スポーツの振興					
事業の内容等	スポーツを通じて町民の融和と健康づくりを図り、生涯スポーツ、地域間スポーツの振興と明るく豊かな町づくりを目指す。						
事業の実績等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 5/25 第 18 回佐賀県さわやかスポーツレクリエーション祭</li> <li>○ 6/29 第 10 回分館対抗女子ミニバレーボール校区大会 34 チーム 479 名の参加(1 位 中原→上地、北茂安→白石・西尾、三根→新町)</li> <li>7/6 第 10 回分館対抗女子ミニバレーボール町決勝大会 12 チーム 166 名の参加(1 位 山田・箕原、2 位 東尾、3 位 上地、新町)</li> <li>○ 9/12 第 9 回分館・クラブ対抗ナイタースーパーキックベースボール大会 9 チーム 101 名の参加(Aパート 1 位 東尾、Bパート 1 位 豆津)</li> <li>○ 11/6 登山教室 福岡県 英彦山 24 名の参加</li> <li>○ 11/10～20 第 9 回クラブ対抗女子ミニバレーボールリーグ戦 15 チーム 189 名の参加(Aクラス 1 位 東大島、Bクラス 1 位 ひまわり、Cクラス 1 位 中原クラブ)</li> <li>○ 11/30 第 1 回分館対抗男子アジャタ(スポーツ玉入れ)大会 22 チーム 208 名の参加(1 位 東尾、2 位 石貝団地)</li> <li>○ 3/10、3/17、3/24 ニュースポーツ教室 室内パタンク、ダーツ、シャフルボード、スポンジテニス等 延 35 人参加</li> </ul>						
事業の成果等	自己評価	開催内容の大会・教室において、参加者数に多少の変動はあるが、安定した参加が見られている。前年度より開始したアジャタ(スポーツ玉入れ)大会は事前に練習会を行う分館も見られ、当日も少しでもタイムを短縮しようと大いに盛り上がった。用具についても新規に購入しており、分館の催しにも積極的に貸出し、今後も周知・普及に努めたい。					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分						
評価委員	評価結果	指 摘 事 項					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし。					
年度以降の取り組み	指 摘 事 項 を 受 け て の 改 善 点 等						

事業名	北茂安 B&G 海洋センター 教室開催事業		所管課	社会教育課	担当	北茂安 B&G 海洋センター担当																				
			費目	B&G 海洋センター費																						
事業費 (千円)	0	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源																			
基本方針	重点目標	町民総スポーツの振興とたくましい心身の育成																								
	主要施策	競技スポーツの振興																								
事業の内容等	町民への水泳教室を対象者毎に開催し、B&G 海洋センターの周知及び利用促進を図る。																									
事業の実績等	<p>松若幼稚園園児に対しては、B&amp;G 海洋センターにおいて通年で小中学生に水泳教室を実施しているインストラクターに講師を依頼し、幼児に対する水泳教室を行った。主な内容としては、幼稚園の先生とも協力して安全を確保し、まず幼児達に水に慣れてもらうことを第一に説明等を行った。また、新町子どもクラブにおいては、毎年夏休み期間に B&amp;G 海洋センターにて教室を実施しており、今回は「楽しく水泳を行う」ことを目的とし、B&amp;G インストラクター有資格者の町職員をはじめ他職員および保護者の監視の元、水泳またプールサイドでの運動の指導も行った。</p>																									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>教室名</th> <th>対象者</th> <th>開催回数</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>松若幼稚園幼児水泳教室</td> <td>松若幼稚園年長児</td> <td>1回</td> <td>20名</td> </tr> <tr> <td>松若幼稚園幼児水泳教室</td> <td>松若幼稚園年中児</td> <td>1回</td> <td>20名</td> </tr> <tr> <td>新町子どもクラブ水泳運動教室</td> <td>新町子どもクラブ (小学生)</td> <td>1回</td> <td>37名</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>3回</td> <td>77名</td> </tr> </tbody> </table>							教室名	対象者	開催回数	参加者数	松若幼稚園幼児水泳教室	松若幼稚園年長児	1回	20名	松若幼稚園幼児水泳教室	松若幼稚園年中児	1回	20名	新町子どもクラブ水泳運動教室	新町子どもクラブ (小学生)	1回	37名	合計		3回
教室名	対象者	開催回数	参加者数																							
松若幼稚園幼児水泳教室	松若幼稚園年長児	1回	20名																							
松若幼稚園幼児水泳教室	松若幼稚園年中児	1回	20名																							
新町子どもクラブ水泳運動教室	新町子どもクラブ (小学生)	1回	37名																							
合計		3回	77名																							
事業の成果等	自己評価	毎年上記教室を実施した際は、子どもたちがプールで元気にそして生き生きとした笑顔を見せてくれる。しかし、近年教室の回数は横ばい状態であり、今後更なる周知・宣伝を行い開催回数の増加を目指し、施設利用促進につなげたい。																								
	達成 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成 やや不十分 不十分																									
評価委員	評価結果	指摘事項																								
	達成 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成 やや不十分 不十分	利用者が少ないようである。 子どもクラブに夏休みの利用を呼び掛ける等して利用者を増やすことはできないか。																								
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等																									
	平成 27 年度より指定管理者制度を導入し、利用者は増加傾向にある。今後、指定管理者側と子どもクラブの利用増につながる環境・体制整備について協議を行い、また子どもクラブの会議時等にプール利用促進に向けて説明し、利用者の増加を図りたい。																									